



賞状贈り功績たたえる

札幌建設協優秀従業員表彰

札幌建設協会は26日、ニューオータニイン札幌で2019年度優秀従業員表彰式を開いた。作業能率の向上や防災防止、職場の安全衛生などに尽力し、現場の第一線で活躍してきた受賞者の労をねぎらった。

札幌建設協会は26日、協力企業26社から29人の計31社35人を選出。出席した受賞者31人に、岩田圭剛会長が賞状と記念品を手渡した。岩田会長は祝辞で、住民生活を支える社会基盤整備や災害対応など建設業の役割を強調した一方、若者の入職者不足や

岩田会長（左）が受賞者に賞状を手渡した

職人の高齢化により技術の継承が危惧されていることを指摘した。

その上で「昼夜を問わず、現場の第一線で活躍してきた皆さんの存在は、建設業界や企業にとつてかけがえのないほ

ど重要になっている」とたたえ、受賞を契機に一層の技術研さんや後進育成に努め、地域の安全安心や建設業の発展のために尽力するよう求めた。

式後は記念撮影、祝賀会へと移り、受賞者と役員、関係者が和やかに歓談した。

1.11.27
北海道建設新聞

札幌建設協が優秀従業員表彰式

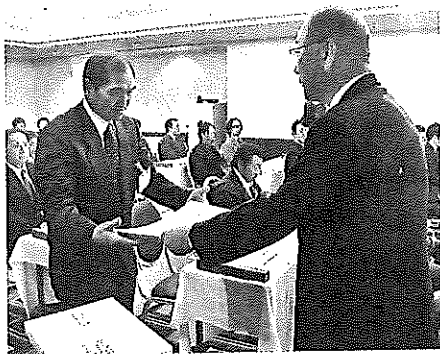
35人の功績たたえる

岩田会長「社会的使命のために尽力を」

札幌建設協（岩田圭剛会長）は26日、ニューオータニイン札幌で2019年度優秀従業員表彰式を挙行した。受賞者は作業能率の向上や安全衛生等での模範となった会員および協力企業の職長、作業員ら計35人。岩田会長が受賞者一人ひとりに表彰状と記念品を贈った。

岩田会長は「現場の第一線で活躍する皆さんの存在は、業界や企業にとってかけがえのない重要なものと確信し、を果たしていくべく『受賞を契機にさらなる技術・技能の研鑽に努め、将来を担う後輩の指導をお願いしたい』と激励した。

他の模範となる会員らに表彰状が手渡された。



1.11.27
北海道通信